

---

# 眠った間隔

水葫沫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

眠った間隔

### 【Nコード】

N2287BA

### 【作者名】

水葫沫

### 【あらすじ】

夢と現実の幅間を描く、儚い物語。

この作品はグロテスクな表現が含まれています

## 序章 終わりの始まり

空想が現実のように見える物語。『空』には、まだ解明されていない出来事が起こるかもしれない。確率1%まで追い求める。そんな世界．．．1人の少年が呟く．．．「あの坂はまだあるのだろうか。」幼馴染の少女は言い返す．．．

「あの坂は朽ち果てたよ。」人は何故過去に振り返ろうとするのだろう。坂は朽ち果てているのに気づかない少年。そう．．．納得がいつていない過去だからこそ振り返る。

人は皆、過去を見るばかりで現実を忘れている。しかし．．．人生はそう簡単なものではない。過去があつてこそその現実。過去と現実には繋がっている．．．

あの坂は何故無くなったのだろうか？それは少女の母親が死んだ時にその現場があ坂．．．

交通事故の現場なんて縁起が悪い場所だと言つて街はその坂を取り壊した。少女は嘆く

何故奪うの？幸せを掴もうとする瞬間、何故神は私の幸福を．．．涙が溢れた。人は何かを手に入れれば何かを失う。だが世の中は不公平なことに失うものしかない人々もいる。母を失い、少女は思う夢の中へ飛び込もう。夢へ行けば何もかも忘れられる。お母さんと同じ場所へ行こう。

少女はナイフを取り出した．．．  
もう要らない何も要らない。お母さんだけでいい。自殺を図ろうとした瞬間、少年が守る．．．ナイフは少年の体に突き刺さった．．．

## 二章　過ち

少年の体に血が滲んだ．．．ナイフは内臓に達する。器官をも壊す『凶器』、死と生の瀬戸際、空間が歪み始めた、少女はそれを悟っていた。

空間の歪みは、並みの人間には到底達する事ができない未知である。少年の目は虚ろ状態に陥った．．．失い続けた少女にもう何も残されてはいなかった。暫くして少年は死体となった

死にゆく人の必然。死体は少女によつて、燃やされた。守ってくれた慈悲なのか礼の言葉を残しその場を立ち去った。自らの命を自ら落とす行為．．．これは過ちとしか取れない。自殺と言うのは「死」の最終地点に歯止めをかける行為、少女はまだ幼い、この重みは分らない年、だが人間だとしたら空間の歪みで分かつて欲しい．．．少女は自首した。保護施設に連れていかれ、何もかも失い、街のどこかで眠っている。空から聴こえる「この街はもう眠ったの？」少女は答えない、しかし空に向かって言った。「有難う」

空からの声は少年だったのか、母だったのか未だに分かつていない．．．。

### 3章 鏡

囁かな少女の声「失っても、命だけは捨てない」大切な命を守ろうとする少女、反して命を奪おうとする運命という名の最大の敵、牢獄での生活は、優しさなどなかった。

苦しい時、悲しい時、何度も、死んだ母親の顔を思い浮かべる。あの時作ってくれた食事、優しい笑顔、温もり、思い出すだけで涙が溢れた。ネガティブ思考でいこう と励ます声なども響かない。励ましは人への嫉妬心を抱くだけだった。辛い過去、辛い現実、踏み出せない不器用な足、少女は自分の存在を否定するしかなかった。

それでも懸命に”生きる”という言葉を忘れずに何事も乗り越えていった。死んだ後の世界なんて誰も知らない、無知な世界空の上だつて解明されてないことがたくさんある。

皆さんは一度目を瞑って考えて欲しい。地球上には見えている物より見えてない物の数が多いかもしれないと、未知なる世界”これは限りなく奥が深い、例えらるとするならば、眠った感覚に陥った時の、人々の心の中のように、純粹である。大切な人は貴方には居ますか？未知なる世界は貴方自身が作るのです

夢の中で会う日が来るまで私は永遠に貴方の心の中に居ます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2287ba/>

---

眠った間隔

2012年1月15日01時45分発行